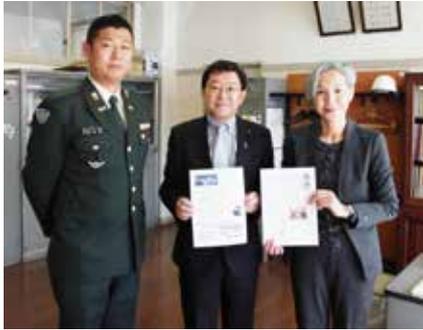


卒業生の活躍を広く周知

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、2月26日（金）神奈川県立港北高校OB広報紙への記事掲載を支援した。

港北高校のOB紙「思港」に、航空自衛隊松島基地所属でブルーインパルスのパイロットとして活躍する稲留2佐のインタビュー記事が掲載された。本企画は、募集相談員で港北高校OB会長の嶋村氏より、「自衛隊で活躍している当校の卒業生を記事として取り上げたい」との依頼を受け、航空自衛隊松島基地の協力のもと実現したものである。当校OBである稲留2佐によると、「兄がブルーインパルス2番機のパイロットを経験したことで、本人も現在の職を目指すきっかけになった」とのこと。また、航空自衛隊創設以来、兄弟でブルーインパルスのパイロットは初めてのことであり、「OBや在校生の方々にぜひ知って頂きたい」との広報官の熱い思いが実を結んだ結果である。



募集相談員嶋村氏を中央に
校長先生、担当広報官で3ショット

横浜出張所は、「今後も、積極的に広報活動を継続することで、学校との連携強化に努めたい」としている。

Action 5 みんなで楽しく学ぼうさい・遊ぼうさい

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 米田2陸尉）は、2月28日（日）、フレスポ小田原シティーモールで実施された「Action 5 みんなでたのしく学ぼうさい・遊ぼうさい」に参加し、広報活動を行った。

このイベントは、市民の防災意識を高めるとともに自衛隊の災害派遣の概要を、理解・認識してもらうものとして実施されたものである。第1高射特科大隊の支援を受けて、82式指揮通信車を展示もするとともに、子供用迷彩服の試着や写真撮影では、沢山の家族連れのファンで大いに賑わいをみせた。

当日は天候に恵まれ、日曜日ということもあり、フレスポ小田原訪れた地元買い物客に対し、自衛官募集等についても沢山の方々に理解を深めることができた。小田原地域事務所は、「引き続き、地元の方々の協力により、地域に密着した広報を実施して自衛官募集を展開していく」としている。



イベントの様子



災害対策キャラバン

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 米田2陸尉）は、2月28日（日）、国際医療福祉大学小田原キャンパスで実施された災害対策キャラバンにおいて自衛隊広報ブースを出展し、広報活動を行った。

このイベントは、神奈川県理学療法士会災害対策委員会が主催したもので、主催者側からの提案により現在募集中の予備自衛官補（技能）募集対象者（医療関係者）が集う場の提供としてブース出展が実現したものである。

特に予備自衛官補（技能）に焦点を絞った広報を実施し、興味をもった方々に対し制度等について理解を深めてもらい、募集広報の成果が得られた。

小田原地域事務所は、「今後も、このような専門的分野における広報活動を実施し、各種自衛官の獲得に努めたい」としている。



ブース出展の様子

